

天然しじみのふるさと

天塩

広報てしお

PUBLIC RELATIONS MAGAZINE TESHIO No.758



《今号の内容》

- 国勢調査のお知らせ・・・P.2
- こんにちは地域包括支援センターです・・・P.3
- 病院だより・・・P.4
- 町民カレンダー・・・P.5
- マチの伝言板／かわまち通信・・・P.6～7
- マチの話題・・・P.8～9

天塩小学校「川の自然観察会」(雄信内川) [7月27日]

令和2年

国

勢

調

査

が始まります

～国勢調査は開始から100年を迎える大切な調査です～

国勢調査とは？

「国勢調査」は、5年に一度の最も重要な統計調査です。第1回国勢調査は大正9（1920）年におこなわれ、今年で100年目を迎えます。

統計法という法律に基づいて実施され、国籍や年齢に関係なく、日本にふだん住んでいるすべての人が調査の対象です。

大切な調査です。みなさまのご協力をお願いいたします。
(調査基準日：令和2年10月1日)

調査のスケジュール

①調査員訪問開始
9月中旬から

②インターネット回答
9月14日(月)から
10月7日(水)まで

③紙の調査票回答
10月1日(木)から
10月7日(水)まで

①調査員がみなさまのお宅を訪問し、調査書類をお配りします。
訪問時に代表者の氏名と男女の別、世帯人数をおたずねします。
調査員は「調査員証」と「腕章」を身につけています。



「インターネット回答」または「紙の調査票での回答」
いずれかの回答方法をお選びください。

②インターネットでの回答期間は9月14日から10月7日まで。
回答サイトにアクセスし、画面の案内にそって回答してください。
インターネットでの回答はとても便利です。ぜひ積極的なご利用をお願いします。

③紙の調査票での回答期間は10月1日から10月7日まで。
インターネットで回答した方は、紙の調査票の提出は不要です。
調査票は「調査員の訪問」または「返信用封筒」により回収します。

※10月7日(水)までに回答が確認できない場合は、調査員が回答のお願いに伺います。

調査員をよそおった不審な調査や詐欺にご注意ください！

(国勢調査員は「調査員証」と「腕章」を身につけています)

本調査は新型コロナウイルス感染症対策を徹底した上で実施いたします。



◆問い合わせ先◆
総務課振興計画係（令和2年国勢調査実施本部）
☎01632(2)1001 内線228



認知症を予防するために



認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったためにさまざまな障害が起こり、6カ月以上にわたって、日常生活に支障をきたしている状態を指します。

認知症になる人は75歳を過ぎたころから急激に増えていきますが、体のあちこちが衰えたりするように、脳も衰えたり、障害が出たりするためで年をとれば誰にでも起こる可能性があります。

しかし、日ごろから体を動かしたり、食事を気にかけることで心身の健康を保てるように、認知症も生活習慣の改善や脳を鍛える活動を行うことで発症を先延ばしにしたり、進行をゆるやかにすることができると言われており、認知症の「予防」の取り組みとして主に3つの習慣がすすめられています。

※認知症の「予防」とは：「認知症になるのを遅らせる」「進行をゆるやかにする」

■基本は「運動」「食事」「社会参加」

① 運動（身体活動）

掃除などの日常生活で積極的に体を動かしたり、1日30分程度の運動習慣を持つことが認知症の予防に役立つと言われています。散歩をしながら計算をするなど、頭を使いながら体を動かすとさらに効果が上がります。



② 食事

筋肉が衰えていく高齢期はバランス良く栄養をとる必要があります。朝・昼・晩の1日3食、主食、主菜、副菜と汁物の「1汁3菜」が理想ですが、食欲がないときは肉や魚、卵、大豆製品などの主菜を食べることが良いでしょう。

※持病のある人は、食事のとり方について主治医に相談してください。



③ 社会参加

家からほとんど出ない状態になると、人との交流や会話が少なくなり、不活発な状態になることから認知機能をはじめ、心身機能が衰えると言われています。買い物などの外出や地域や趣味の集まりなどに参加することが脳の刺激につながります。

認知症講演会を開催します！

- 実施日 9月25日（金）
13時30分～15時30分
 - 場所 天塩町社会福祉会館 大ホール
 - 内容 認知症の理解と予防について
- ※回覧等でお知らせします。



【問い合わせ先】福祉課地域ケア係 ☎（2）1728 【直通】

お元気ですか？ 舌の味覚力

食欲増す実りの秋ですね。今号は『味覚について』お話しいたします。

■そもそも味覚とは

味覚成分は『甘味』『酸味』『塩味』『苦味』『旨味』の5つの基本味からなり、食べ物をかみ砕くと舌に数多く存在している「味蕾」と呼ばれる細胞を刺激します。その情報が脳に送られ、食感や舌触り、温度、香り、色彩など、五感全てを使い味わっています。

五大味覚の代表食材

甘味・・・砂糖、まんじゅう、母乳、くだもの
塩味・・・塩、醤油、たらこ、ポテトチップス
酸味・・・梅、酢、レモン、ヨーグルト
苦味・・・コーヒー、ビール、ピーマン、魚のはらわた
旨味・・・昆布だし、かつおぶし、椎茸、しじみ汁
※激辛好きの方！ 辛味は味覚ではなく「痛覚」です。

■味の記憶を蓄積して味覚は形成される

味覚の形成は、離乳期以降の食経験によると考えられています。甘味は他の味の経験が少ない子供にとつては嗜好の高い味で、酸味と苦味は毒物や腐敗物であること示すため本能的に嫌います。おいしいと感じるのは何度も経験したうえのことです。例えば苦いビールはアルコールによる高揚感を味わう学習経験によって嗜好するようになります。

■食事の乱れで細胞の若返りができず、味覚異常につながる

栄養素の亜鉛が不足すると味蕾細胞が合成できなくなり、牡蠣・肉・大豆・ナッツなどに多く含まれている亜鉛は、バランスの取れた食生活であれば十分量摂取できます。誤ったダイエットやアルコールの多飲、インスタント食品に偏りすぎた食生活は亜鉛不足を招きます。

■加齢と味覚の変化

味を感じるセンサー「味蕾」の数が、高齢者は乳幼児の30～50%まで減少すると報告されています。

す。また口腔乾燥症（ドライマウス）や入れ歯の装着によっても感じにくくなります。老年期はとかく味の濃い物を好むようになり、知らず知らずのうちに塩分や糖分の濃い食事をとっていることが懸念されます。加齢にともない味覚力が低下するのは生理的なことです。持病や薬が要因の味覚障害には、まずは病気の治療を第一とします。

■味覚の低下に負けない！ 薄味への挑戦

外食や中食は、誰がどのような状況でも美味しいと感じられるような味付けにしてあるため刺激が過剰です。年齢に関係なく、それに舌が慣れると薄味に抵抗をもち、本来のおいしさを感じ取れなくなってしまう。薄味には慣れが必要ですので段階的に薄くしていきます。慣れたらもう一段階薄めに、というように徐々に塩分を減らしていきます。お酢やレモン、スパイスや青じそ、ねぎ、生姜等の香味野菜をつかってアクセントをつけることで、薄味をカバーすることが出来ます。薄味に慣れると、味覚力を鍛

える事ができ、味の繊細さや微妙な違いを感じられるようになっていきますよ。結果、病気の予防へとつながります。

栄養士さんのつぶやき

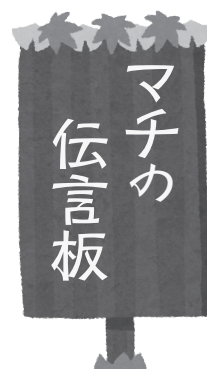
秋は美味しい食べ物がたくさんあり大好きな季節です♥お腹いっぱい食べる意味の「たらふく食う」という言葉がありますが、魚の鰯は大食漢な魚で、そのお腹の様子から、たらふくという当て字説があります。胃袋を解剖すると、多くの潰瘍が見つかるそうです。やはり食べすぎはいけませんね。



町民カレンダー

令和2年  9月

日	月	火	水	木	金	土
休み	生ゴミ ペットのふん	一般ゴミ	資源ゴミ 紙おむつ等 衣類等	生ゴミ ペットのふん	農村地区	休み
8月 30	31	9月 1	2	3	4	5
・日程は変更となる場合がありますので、ご確認ください。 ・ごみは当日の朝8時までに出してください。 ・9月の回覧日は9日と23日です。		○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10～12時 ■夕映健康相談 [てしお温泉夕映] 13時30分～14時30分 ●運転免許更新講習 [社会福祉会館] ・初回 10時 ・優良 13時 ・一般 13時45分 ・違反 15時	○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10～12時 ●運転免許更新講習 [幌延町消防署2階] ・優良 18時30分	○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10～12時	■はまなす学園大学	
6	7	8	★町内回覧日 9	10	11	12
	■定例健康相談・物忘れ相談 [天塩町役場] 10時～16時 ○あいあいクラブ [雄信内保育所] 10～12時	★おでかけサロン [老人福祉センター] 10時～14時 ○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10～12時	○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10～12時	+ 眼科外来 ○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10～12時		
13	14	15	16	17	18	19
●町民ジョギング大会	○雄信内保育所開放日 ○あいあいクラブ [雄信内保育所] 10～12時	○こども園開放日 ○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10～12時	○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10～12時 ★はつらつクラブ [ふれあいセンター] 13時30分～15時	★いきいきサロン [雄信内老人憩の家] 10時～14時 ○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10～12時	○託児の日 [ふれあいセンター]	
20	《敬老の日》21	《秋分の日》22	★町内回覧日 23	24	25	26
			○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10～12時 ★しゃっきりサロン [てしお温泉夕映] 13時～14時	+ 産婦人科外来 ○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10～12時	○乳児健診 12時50分～13時20分 ○5歳児健診 12時30分～13時 + 小児科外来	
27	28	29	30	10月 1	2	3
	+ 眼科外来 ○あいあいクラブ [雄信内保育所] 10～12時	★いきいきサロン [老人福祉センター] 10時～14時 ○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10～12時	○あいあいクラブ [子育て支援センター] 10～12時	今月の納税 9/30 ・町道民税(第4期) ・国民健康保険税(第4期) ・固定資産税(第3期)		



知っていますか？ 建退共制度

建退共制度は、中小企業退職金共済法に基づき建設現場労働者の福祉の推進と建設業を営む中小企業の振興を目的として設立された退職金制度です。

この制度は、事業主の方々が、労働者の働いた日数に応じて掛け金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに建退共から退職金を支払うという、いわば業界全体での退職金制度です。

- 加入できる事業主
- 建設業を営む方
- 対象となる労働者
- 建設業の現場で働く人

■ 掛金 310円（日額）

- 建退共の特長
- ・ 国の制度なので安全、確実、申込手続きは簡単です。
- ・ 経営事項審査で加点評価の対象となります。

・ 掛金の一部を国が助成します。

・ 掛金は事業主負担となりますが、法人は損金、個人では必要経費として扱われ、税法上全額非課税となります。

・ 事業主が変わっても退職金は企業間を通算して計算されます。

■ 事業主の皆様へのお願い

・ 共済証紙は、労働者の就労日数に応じて適正に貼付してください。

・ 建設業退職金共済手帳を所持している労働者が、建設業界を引退するときは、忘れずに退職金を請求するよう指導してください。

◆ 問い合わせ先 ◆

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建退共北海道支部

☎ 011 (261) 6186

アイヌの方々のための 相談電話があります

公益財団法人 人権教育啓発推進センターでは、アイヌの方々の悩みをお受けするフリーダイヤルを設置しています。嫌がらせ、差別、プライバシー侵害などの相談もお受けします。

本相談事業は、公益財団法人 人権教育啓発推進センターが、厚生労働省生活相談充実事業により実施するものです。

■ 相談専用フリーダイヤル

☎ 0120 (771) 208

■ 受付時間

平日9時～17時（ただし、12月29日～1月3日を除きます）

※ 来訪による相談もお受けします（要予約）。

◆ 問い合わせ先 ◆

公益財団法人 人権教育啓発推進センター（東京都港区芝大門2-10-12 KDX芝大門ビル4階）

天塩川の流木を 差し上げます

天塩川の川辺に流れ着いた流木を無料配布します。

■ 配付場所

北川口左岸集積所（左の地図の★マークの位置）

■ 配付期間

令和2年9月1日（火）～10月30日（金）

■ 注意事項

・ 配布流木は先着とさせていただきます、なくなり次第終了とさせていただきます。

・ 流木は180cm程度に切りそろえています。

・ 利用については私的利用のみとさせていただきます。

・ 車上への積み込み作業等の安全確保については自己責任でお願いいたします。

◆ 問い合わせ先 ◆

留萌開発建設部 幌延河川事務所 河川課

☎ 01632 (5) 1231



訂正とお詫び

広報てしお8月号5ページ「暮らしのお知らせ」に掲載いたしました内容に誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

● 「児童扶養手当」 枠内

【誤】 ② 未婚で、18歳に達する最初の3月31日までの児童（就学等の場合は、20歳まで）の児童を育てている母親

【正】 ② 未婚で、18歳に達する最初の3月31日までの児童を育てている母親



掲載を希望される方へ

10月号へ掲載を希望する方は、9月9日（水）までにお知らせください

総務課企画広報係

税金

についてのお知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響により町税・道税の納税や申告等が困難な場合は、申請により納税の猶予や申告期限等の延長が認められる場合があります。

◆問い合わせ先◆

【町税について】住民課税務係

☎(9) 7750 (住民課直通)

【道税について】留萌振興局税務課

☎0164 (42) 8418

道税 コロナ

検索



▲天塩町農業委員

委員のご紹介
新たに委嘱された委員の皆様をご紹介します。(敬称略)

■天塩町農業委員(任期:令和2年7月20日〜令和5年7月19日)
穴戸 栄一(会長)、安川和範(職務代理者)、丸山淳子、伊藤淳一、奥山稔、寺本奈穂子、高橋一博、満保豊、佐藤博幸、湯澤敏孝、山下雅博

■天塩町選挙管理委員(任期:令和2年6月30日〜令和6年6月29日)
岸山久美子(委員長)、竹谷志郎(職務代理者)、土田孝司、三浦隆

■天塩町行政改革委員(任期:令和2年6月29日〜令和4年6月28日)
村中力、高橋晶子、熊谷津恵子、中嶋仁志、桑田幸治、多々良征司、大平智

かわまち通信

「検討会でのグループワーク」

活動開始から8年目を迎えますが、新型コロナウイルス感染症の影響から、イベント等の活動が実施できない状況が続いています。そのような中、本年度第1回目(通算41回目)の検討会を8月7日、福祉会館の大ホールにて開催しました。オンライン参加も含め町民委員、関係者33名が参加いたしました。メンバーの興味関心のあるテーマ毎にグループワークを行い、具体的な取り組み内容について、議論しました。

①グループ「野鳥のPRと活用」

天塩川下流域では、100種類以上の野鳥が生息しているが、調査は行っているものの姿を撮影することができていない。撮影する技術とカメラ等機材を調達し、道の駅・SNS・デジタルサイネージ等で写真をアップしてガイド案内を実施する。

②グループ「B級グルメでPR」
天塩では既に「しじみラーメン」などご当地メニューがありますが、新メニューとして天塩のキムチ、しじみ、たこ、チー

ズなどを入れた天塩オリジナル「春巻き」を開発し、道の駅や夕映で提供したい。

③グループ「遺跡キャンプ」(昔を「見る」から「体験する」へ)
川口遺跡にある竪穴式住居を活用し、現代の文明的なものは使用せず、薪を集めて火おこし、採った山菜や釣った魚を食材にして二シン油の灯りでキャンプする体験。「昔の話を見たり聞いたりするだけでなく、実際に体験してみること」で新たな発見が得られるのと、現代のありがたみを体感することができると。

④グループ「河川公園等の空間を利活用したイベント」
地元の方にもっと河川公園に親しみを持ってもらうため、利用し



▲グループ毎に取り組み事案を発表

てもらう機会をつくりたい。昔は、川は「危ない」「近づいてはいけない」というイメージがありましたが、近年は安全かつ綺麗に整備されているので、昔のネガティブなイメージをポジティブなものに変えていきたい。

このように各グループで議論された取り組み事案について、今後メンバーが町民や関係者と協議し実行に移していくため、コロナ禍でどのようにコミュニケーションや合意形成を図っていくかについて、オンラインツールを活用する等、意見を交わしました。



▲コロナ禍でのオンライン活用についてレクチャー

▼患愛荘に回収マスクを寄贈する多々良部長（左）



天塩商工会青年部（多々良 征司部長）は、各家庭で不要になった新品、未開封のマスクを回収するため、道の駅や郵便局、北海道銀行、稚内信用金庫など町内10箇所にマスク回収ボックスを設置し、1カ月間で約250枚のマスクを回収しました。

7月10日、多々良部長が特別養護老人ホーム患愛荘を訪れ回収されたマスクを寄贈しました。マスクを受け取った阿部施設長は「マスクは常時使っていて、価格もまだ高値で推移しているので、たいへん助かります」と感謝の言葉を述べました。

回収マスクを寄贈

▼朝のあいさつ旗波・人波運動の様子



7月13日から22日まで、「夏の全国交通安全運動」が実施されました。

今年の北海道地区のスローガンは「ストップ・ザ・交通事故故めざせ安全で安心な北海道」です。運動開始日の13日から15日は、「朝のあいさつ旗波・人波運動」として新栄通沿いを中心に町内会メンバー、天塩警察署の署員が街頭で早朝より旗を振り、通学する小中高生や通行するドライバーに挨拶と交通安全の呼びかけを行いました。登校する児童生徒が元氣よく「おはようございます」と元氣良く挨拶を返している様子が見られました。

夏の交通安全週間

▼パークゴルフ大会の様子



7月19日、天塩郵便局・雄信内郵便局主催、天塩町パークゴルフ協会主管による「第2回健康増進パークゴルフ交流大会」が運動公園パークゴルフ場にて開催されました。

当日は快晴に恵まれ、26名の町民が参加しました。今回、参加者の最年少は19歳、最高齢は93歳と、幅広い世代による和やかな中にも真剣な面持ちで白熱したプレーが展開されました。今年は、新型コロナウイルス感染症の影響で同様の大会が中止となる中、初めての公式大会となりました。主催した天塩郵便局の佐藤 遵局長は「このようなことを通じて健康増進と合わせ、地域を活性化していきたい」と述べました。

「パークゴルフ大会」を開催

▼患愛荘に手作りマスクを寄贈する天塩町赤十字奉仕団



7月20日、草刈委員長ら団員3名が患愛荘を訪れ、作成した夏用マスク50枚を阿部施設長に手渡ししました。受け取った阿部施設長は「毎日マスク着用で働く施設スタッフの熱中症予防・対策にたいへん役に立つのでありがたい」とお礼の言葉を述べました。

「手作り夏用マスク」を寄贈

▼ペーパータオルを寄贈した合同会社 RIGHT の社員



ペーパータオルを寄贈

合同会社 RIGHT（杉本 充代表社員）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための衛生用品としてペーパータオル4万枚を町へ寄贈しました。

同社は昨年創業し、設立から1年が経ち、町のために何かしたいとの思いから、今回の寄贈に至りました。

8月6日、役場庁舎で行われた贈呈式には同社の3名が訪れ、佐々木町長に「寄贈いただきましたいへんありがとうございます。町の施設で有効に活用させていただきたい」と感謝の言葉を述べました。

▼役場前駐車場で演奏する天塩高校吹奏楽局



天塩高校吹奏楽局が演奏発表

8月2日、天塩高校吹奏楽局と、陸上自衛隊音楽隊（留萌駐屯地・施設学校）による演奏発表会が役場前駐車場で行われました。

同局は「情熱大陸」「ひまわりの約束」「ジャイアントドラム」の3曲を約100人の観覧者の前で演奏披露しました。同局顧問の山本 直和 教諭は「今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント催事等での演奏の機会がなく、今年度に入ってから初めての演奏発表でした。生徒たちにとって貴重な発表の機会となり、自衛隊音楽隊の演奏を聴くこともでき、たいへん良い経験になりました」と感想を述べました。

▼清掃ボランティアを行うバレ少年団のメンバー



バレ少年団・清掃ボランティア

8月9日、天塩バレ少年団クラブ「天塩フェニックス」のメンバーが町市街地の清掃ボランティアを行いました。

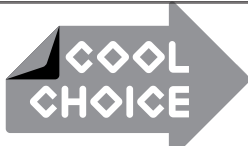
当日は、小中学生22名とその保護者18名の合計40名が参加しました。海岸通、山手通、山手裏通、新栄通の区域ごとに4班に分かれて12丁目から鏡沼まで歩き、路地に落ちていたゴミを拾いました。参加した小学6年生の多々良 玲奈さんは「日頃から、地域のみなさんに応援してもらっているので頑張ってゴミを拾いました。町をきれいにできてよかったです」と感想を話していました。

▼町の市街地で清掃活動を行う天中生



天塩中・クリーンボランティア

例年、厳島神社祭の後に天塩中学校の生徒により実施していた町内清掃ボランティアが、8月3日に行われました。生徒会本部が企画・準備をし、全校生徒に呼びかけをしたところ、生徒約50名が参加し市街地の各場所での清掃活動を行いました。約1時間半で40リットルのゴミ袋5袋分のゴミを収集しました。参加した吉光 佑太郎（2年生）さんは「町をきれいにすることができてよかった。タバコの吸殻がたくさん落ちていたのが印象的でした。これからも、ゴミが落ちていたら積極的に拾おうと思います。そして、天塩の町がもっときれいになってほしい」と感想を述べました。



未来のために、いま選ぼう。

**天塩町は
「COOL CHOICE」
に賛同しました**

「クールチョイス」とは、地球温暖化対策の国際的枠組みとして平成27年に採択された「パリ協定」での世界目標として平均気温上昇値を2℃未満とするため温室効果ガス排出を日本国として平成25年度比で26%削減する目標を掲げており、その達成のため企業や自治体などの行政機関が、その理念を共有及び啓発普及させるための国民的運動です。天塩町では、相乗り交通の取り組みが評価され平成30年度版「環境白書」にも先進事例として掲載されています。




ドライバー・同乗者の申込受付中！
相乗り交通事業を利用しませんか。申込みは、☎(2)1001又は上記のQRコードまで




天塩町電子図書館では、パソコンやスマートフォン等でも電子図書を借りられます。町民の方の利用は無料ですので、ぜひご利用ください。




コミュニケーションアプリ「LINE」に、天塩町公式アカウントを開設しています。天塩町の情報を発信していきますので、ぜひ登録ください。

戸籍のお知らせ

※掲載にご同意いただいた方のみ掲載しておりますので、ご了承願います。

★お誕生おめでとうございます

(山手裏8)

石山 暖真さん

剛さん・睦さんの長男

(字川口)

大久保 里空さん

量太さん・祥子さんの長男

★ご結婚おめでとうございます

該当なし

ごめいふくをお祈りします

(新栄10)

中岡 マサさん (77歳)

(山手裏9)

佐々木 秋雄さん (82歳)

ご厚志の紹介

■天塩町社会福祉協議会 愛情銀行へ
【香典返しとして】

新栄10 中岡 太一さん

山手裏9 佐々木 敏子さん

■恵愛荘へ 藤澤 京子さん

8丁目シニアクラブ 様
べこちちファクトリー 様

編集後記

♪いつも「広報てしお」をご愛読いただき有難うございます。広報担当の菅原・菅野です。新型コロナウイルス感染症の陽性者数が都市部で増加傾向にあり、予断を許さない状況で、不安感を拭えない昨今と存じます。しかし、毎号の「マチの話題」で取り上げているように町内の各団体・有志・事業者の方々から施設や学校へマスクや消毒液など寄附、寄贈をいただいています。こういった心温まる話題を引き続きお伝えできればと思います。

♪広報紙への記事掲載や取材のご依頼などございましたら、お気軽に総務課企画広報係までお問合せ・ご連絡ください。

今月の表紙

天塩小学校「川の自然観察会」(雄信内川)



夏真っ盛りの陽気の中、児童23名が参加しました。幌延河川事務所のスタッフから川の安全について学んだ後、川の中に入り全身スプ濡れになりながらタモ網で小魚や水生昆虫を採取し、その名称や生態についてスタッフから説明を聴きました。児童たちは川の中ですつと熱中・興奮・感動に包まれている様子でした。

天塩町民憲章

わたくしたちは、天塩川と日本海の恵みでひらかれた天塩の町民です。わたくしたちは、先人のたくましい心をうけつぎ、明るく豊かな住みよい町をつくるため、この憲章をさだめます。

- 1 からだをきたえ 仕事にはげみ 明るい家庭をつくりましょう
- 1 きまりを守り 力をあわせ 住みよい社会をつくりましょう
- 1 教養を高め 文化を育て 豊かな郷土をつくりましょう
- 1 自然を愛し 環境をととのえ 美しいまちをつくりましょう
- 1 未来をみつめ 産業をのばし 希望にもえる町をつくりましょう

ひとのうごき

7月末

--- 人口 ---
2,981人 (+ 3)

♂ **1,489人 (+ 2)**

♀ **1,492人 (+ 1)**

--- 世帯数 ---
1,520世帯 (+ 1)

※ () 内は前月比